

琴平町地球温暖化対策実行計画 平成 28 年度実施状況報告(概要)

平成 29 年 8 月

「琴平町地球温暖化対策実行計画」は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に準じ、琴平町が平成 23 年度に地球温暖化の主要因である二酸化炭素(CO₂)の発生抑制を目的として策定したものです。本町は、計画を基に率先して環境に配慮した事務・事業を推進すると共に、本報告で計画の取組状況について公表するものです。

この度、本計画期間の最終年度である平成 28 年度の温室効果ガス排出量が 588 t-CO₂になったことで、温室効果ガスの削減目標(3.6%)に対して 12.7%削減する結果となりました。

1. 実行計画の概要

- ✓ 基準年:平成 22 年度
- ✓ 実行計画期間:平成 24 年度 ~ 平成 28 年度
- ✓ 実行計画の対象範囲:本町の管理する事務及び事業
- ✓ 調査対象ガス:二酸化炭素(CO₂)
- ✓ 基準年の温室効果ガス排出量(基準排出量):673 t-CO₂
- ✓ 削減目標:基準排出量に対し 3.6%(24 t-CO₂)以上削減

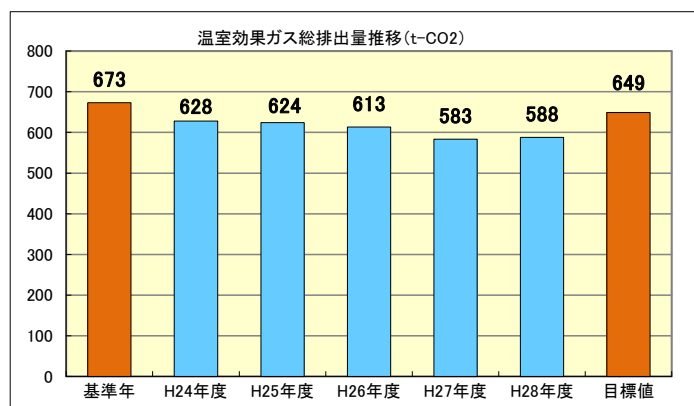
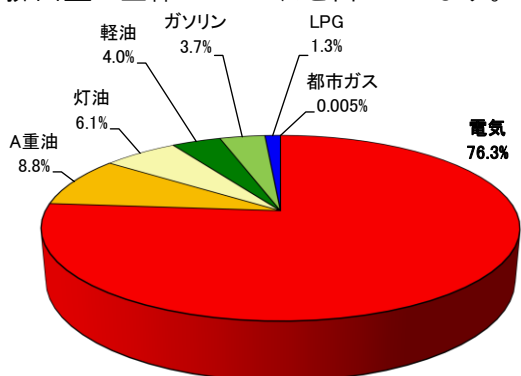
2. 平成 28 年度 温室効果ガス排出状況

(1) 温室効果ガス排出量算定の概要

- ✓ 温室効果ガス排出量は、「活動量」(電気、燃料などの使用量)に、「排出係数」(電気や燃料など個別に設けられた係数)をかけて求めます。
- ✓ 「排出係数」は下記の理由により、基準年と同一の係数を使用します。
 - 温室効果ガス排出量の増減には、排出係数の増減が影響するため。
 - 職員の取組状況把握のため、実行計画の管理には活動量の変化のみ考慮した排出量で評価するため。

(2) 温室効果ガス排出量推移及び排出源構成

- ✓ 平成 28 年度の温室効果ガス排出量は 588 t-CO₂となり、基準排出量(673 t-CO₂)に対して、12.7%(85t-CO₂)減少する結果となりました。
- ✓ 温室効果ガス排出源構成では、電気使用に伴う排出量が全体の 76.3%を占めています。



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により 100%にならない場合があります。

(3) 排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況

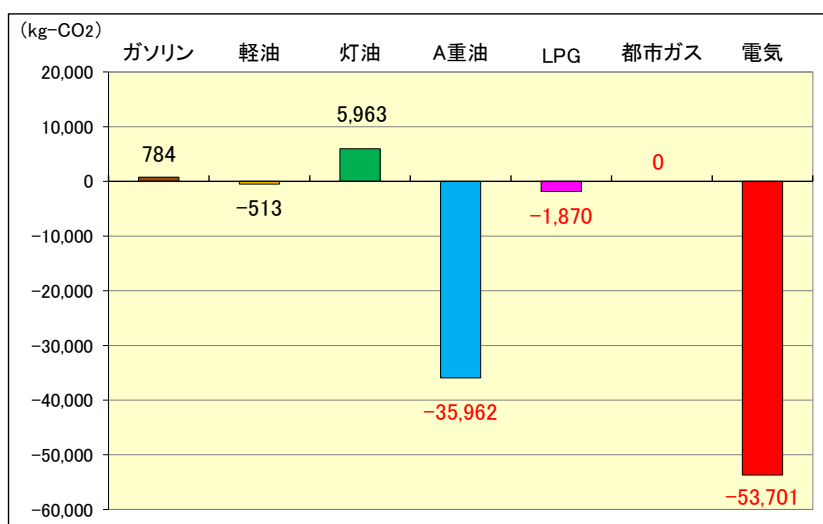
排出源別では、ガソリン、灯油使用に伴う排出量は基準年比で増加したものの、軽油、A重油、LPG及び電気使用に伴う排出量は基準年比で減少する結果となりました。

温室効果ガス全体の排出量の減少には、A重油と電気使用量の減少が影響しています。

(単位: kg-CO₂)

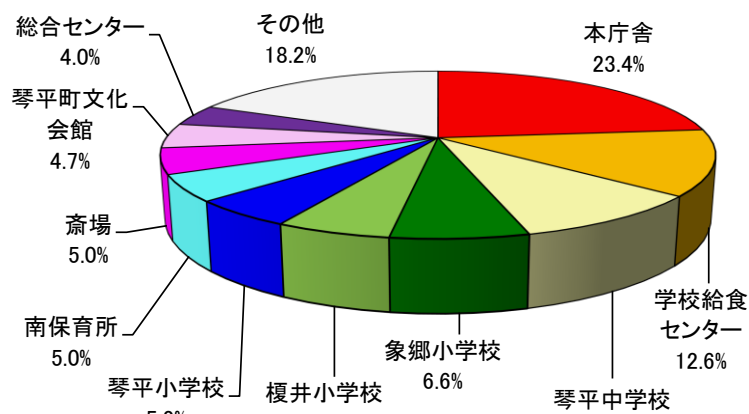
項目	平成22年度 (基準年)	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	排出量	排出量	基準年 対比	排出量	基準年 対比	排出量	基準年 対比	排出量	基準年 対比	排出量	前年度 対比	基準年 対比	
燃料	ガソリン	20,687	20,438	-1.2%	21,123	2.1%	21,032	1.7%	22,468	8.6%	21,471	-4.4%	3.8%
	軽油	23,815	23,505	-1.3%	23,196	-2.6%	22,874	-4.0%	23,913	0.4%	23,302	-2.6%	-2.2%
	灯油	29,729	31,999	7.6%	36,302	22.1%	33,410	12.4%	33,451	12.5%	35,692	6.7%	20.1%
	A重油	87,452	77,121	-11.8%	67,208	-23.1%	56,910	-34.9%	54,200	-38.0%	51,490	-5.0%	-41.1%
	LPG	9,219	8,772	-4.9%	8,859	-3.9%	8,775	-4.8%	8,574	-7.0%	7,349	-14.3%	-20.3%
	都市ガス	30	25	-15.4%	34	15.4%	41	38.5%	27	-7.7%	30	8.3%	0.0%
電気	502,181	465,921	-7.2%	467,661	-6.9%	469,954	-6.4%	440,728	-12.2%	448,480	1.8%	-10.7%	
温室効果ガス全体	673,112	627,781	-6.7%	624,384	-7.2%	612,995	-8.9%	583,361	-13.3%	587,814	0.8%	-12.7%	

※ 平成 25 年度実績調査におけるデータ精査の結果、基準年及び平成 24 年度の都市ガスの排出量を見直しています。



(4) 施設別温室効果ガス排出構成

平成 28 年度の施設別の温室効果ガス排出構成では、本庁舎の排出量が全体の 23.4%を占めており、以下学校給食センター(12.6%)、琴平中学校(9.7%)等が続いています。



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により 100%にならない場合があります。

(5) 施設別温室効果ガス増減状況

施設別の温室効果ガス排出量について、基準年に対して排出量が減少した施設は 16 施設(25 施設中)となり、排出量は合計で約 96 t-CO₂ 減少する結果となりました。排出量減少の要因としては、本庁舎、総合センターにおける電気使用に伴う排出量の減少、学校給食センターにおける A 重油使用に伴う排出量の減少が挙げられます。

一方、基準年に対して排出量が増加した施設は 9 施設(25 施設中)となり、排出量は合計で約 10t-CO₂ 増加する結果となりました。

排出量増加の主要因としては、南幼稚園、ACTことひら等における電気使用に伴う排出量の増加が挙げられます。

排出量が減少した施設

(単位: kg-CO₂)

課・施設	平成22年度 (基準年)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	対前年度 減少量	対基準年 減少量
本庁舎	169,114	139,282	139,802	136,200	132,730	137,420	4,691	-31,694
学校給食センター	100,075	88,510	86,369	79,087	76,929	74,054	-2,875	-26,021
総合センター	37,485	25,698	24,512	23,271	23,053	23,726	672	-13,759
琴平小学校	38,797	34,276	30,363	30,911	30,036	30,507	471	-8,290
琴平町文化会館	30,593	29,141	28,611	27,783	23,552	27,788	4,236	-2,805
榎井小学校	35,492	38,292	41,183	40,973	33,931	32,824	-1,107	-2,669
斎場	31,648	31,405	34,175	31,574	31,528	29,106	-2,422	-2,542
南保育所	31,898	36,061	33,053	28,441	27,372	29,548	2,176	-2,349
北保育所	20,966	21,480	22,342	19,038	19,756	18,721	-1,034	-2,245
琴平中学校	58,102	60,740	56,197	62,189	54,685	56,859	2,174	-1,242
琴平児童館	2,162	980	1,099	1,040	1,051	1,160	109	-1,003
教育集会所	4,357	3,883	3,840	3,527	4,326	4,011	-315	-346
苗田児童館	3,531	2,734	2,739	2,866	3,182	3,217	35	-313
ゆうあいの家	1,344	1,372	1,369	1,344	1,203	1,046	-157	-298
榎井公民館	4,906	4,899	4,850	4,722	4,599	4,726	127	-181
象郷会館	1,300	1,129	1,356	1,432	1,293	1,264	-28	-35
合計	571,770	519,882	511,860	494,398	469,224	475,977	6,752	-95,793

排出量が増加した施設

(単位: kg-CO₂)

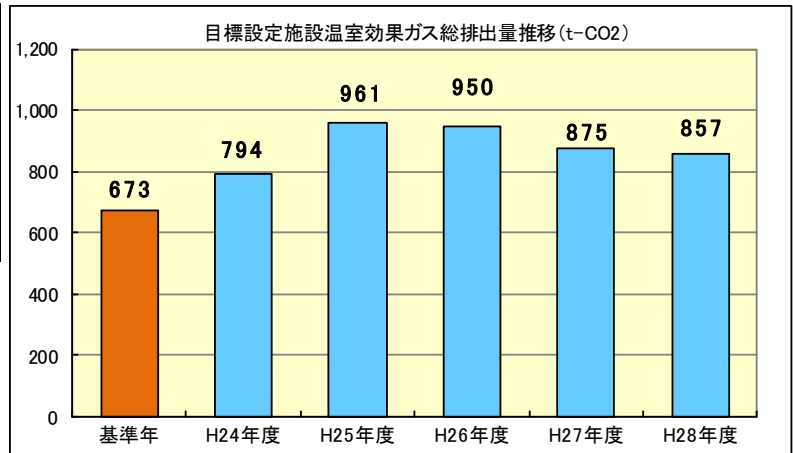
課・施設	平成22年度 (基準年)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	対前年度 増加量	対基準年 増加量
南幼稚園	4,576	5,010	4,766	6,109	6,399	7,424	1,025	2,848
ACTことひら	10,961	11,170	11,541	11,709	11,362	13,684	2,322	2,723
生涯教育課(教育委員会)	8,359	7,845	8,659	7,891	10,261	10,704	443	2,345
象郷小学校	37,931	40,262	40,106	40,733	39,772	39,057	-715	1,127
北幼稚園	5,350	4,148	4,590	4,345	4,915	6,206	1,292	856
旧金毘羅大芝居	11,086	11,703	12,076	11,875	10,793	11,422	629	336
公会堂	10,558	14,380	18,039	24,390	20,083	10,659	-9,425	101
象郷農業構造改善センター	7,009	7,325	6,908	6,818	5,898	7,096	1,198	87
デイサービスセンター	5,512	6,057	5,838	4,727	4,653	5,584	931	72
合計	101,342	107,899	112,524	118,597	114,137	111,837	-2,300	10,495

3. 琴平町の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量(実排出量)

✓ 平成 28 年度温室効果ガス排出量(実排出量) : 857 トン(27.3%増加)

東日本大震災後の原発稼働率低下の影響により、電気事業者(四国電力)の電気の排出係数が基準年比約 160%(四国電力:0.407kg-CO₂/kWh(基準年)⇒ 0.651kg-CO₂/kWh(平成 28 年度))となったことで、琴平町のエネルギー使用量は減少したものの、実排出量は増加する結果となっています。

年度	排出量 (t-CO ₂)	基準年 対比
基準年	673	0.0%
H24年度	794	17.9%
H25年度	961	42.8%
H26年度	950	41.2%
H27年度	875	29.9%
H28年度	857	27.3%



4. 実行計画の総括

(1) 実行計画の削減目標

平成 28 年度の温室効果ガス排出量は 588 t-CO₂となり、基準排出量(673 t-CO₂)に対して 12.7% (85t-CO₂)減少し、削減目標を上回る結果となりました。

(2) 今後の方針

国は、2030(平成 42)年度の温室効果ガス排出量を 2013(平成 25)年度比で 26.0%削減することを掲げ、目標を達成するために、各主体が取り組むべき対策・施策を明らかにし、地球温暖化対策の総合的かつ計画的な推進を図るため、2016(平成 28)年 5 月に「地球温暖化対策計画」を策定しました。

こうした状況のなか、琴平町においても、国の目標達成を含めた地球温暖化対策を行政の責務として実施することが重要となります。

本町では、平成 28 年度に本実行計画の最終年度を迎えたことから、平成 29 年度以降の地球温暖化対策への取り組みを継続的に実施することを目的として、平成 29 年度中に「第 2 期琴平町地球温暖化対策実行計画」を策定します。

第 2 期琴平町地球温暖化対策実行計画では、琴平町の事務・事業の一層の温室効果ガス排出削減及び省エネルギー化を図るとともに、再生可能エネルギーの導入や省エネ機器への更新など、より実効性の高い施策の実施による温室効果ガス削減を目指すことが求められます。